

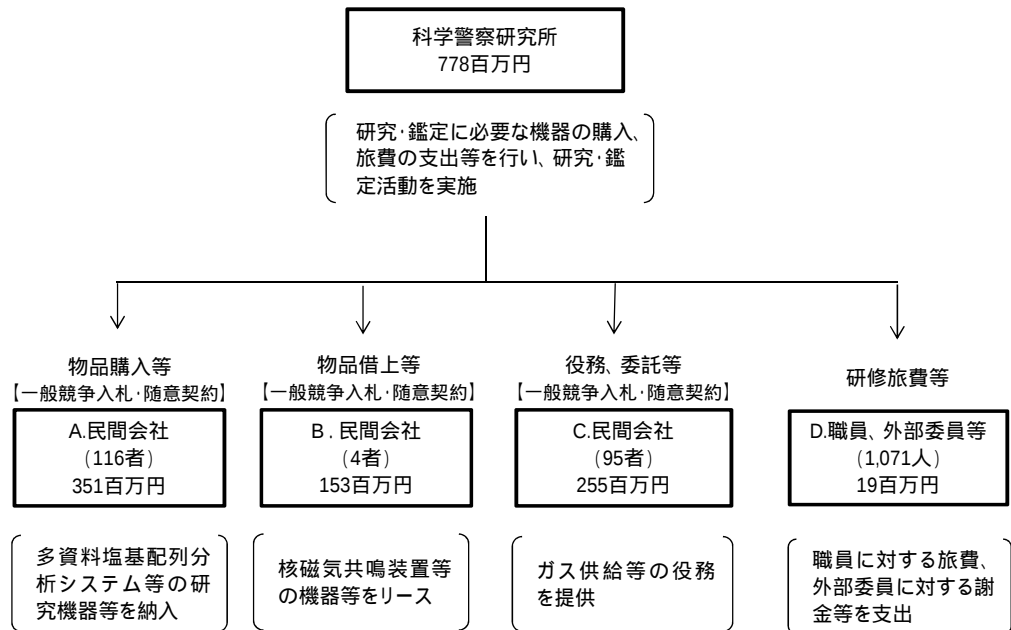
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	科学警察研究所	担当部局庁	科学警察研究所	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	総務部会計課	総務部長 大橋 亘				
会計区分	一般会計	施策名	複数施策(1～7)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学警察研究所は、犯罪科学に関する総合的な研究機関であり、科学捜査についての研究・実験及びこれらを応用する鑑定・検査、犯罪の防止及び少年非行防止についての研究・実験並びに交通事故の防止その他交通警察についての研究・実験を行うことによって警察活動における犯罪の科学捜査に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本研究所の主な事業概要は、「研究・開発」、「鑑定・検査」、「研修・指導」の3つであり、「研究・開発」については、各年度ごとに研究計画を定め、鑑定技術の確立、鑑定器材の開発、犯罪・非行防止の解明、防犯対策、交通の安全・円滑に関する研究などを行っている。 「鑑定・検査」については、科学捜査の推進という観点から、都道府県警察、裁判所、検察庁等から鑑定委託を受けたもののほか、犯罪捜査で押収した偽造硬貨、及び銃器、弾丸類は、全て鑑定を行っている。 「研修・指導」については、鑑定技術の高度化を図るために法科学研修所において、都道府県警察の鑑定技術職員に対し専門分野に技術指導を行っている。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	835	851	857	804	751	
		補正予算	0	317	0	0		
		繰越し等	0	0	1	1		
		計	835	1,168	856	805	751	
	執行額		789	1,058	778			
	執行率(%)		94%	91%	91%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 科学的捜査、防犯及び交通についての研究・鑑定等の実施 (参考指標) 科学警察研究所の発表した論文数		成果実績	件	71	59	59	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	新規に開始した特別研究数		活動実績 (当初見込み)	件	2	1	2 (2)	- (2)
単位当たり コスト	778,066千円 / 年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	物品購入等	304	292	実績額の反映による減額				
	物品借上等	142	144					
	役務・委託等	338	297					
	研修旅費等	20	18					
計	804	751						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 予算執行については、科学警察研究所で直接行っていることから、支出先については、把握している。		
	2 見直しの余地 科学警察研究所の活動は、犯罪の科学捜査に大きく貢献しているところであり、継続して実施する必要があるが、今後も過去の調達状況を反映し、より競争競争性を高める仕様への見直しを図るなど、適切な予算の執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1 支出先・使途等の実態把握状況に関する所見 概ね十分であると認められる。		
	2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 研究・鑑定等に係る経費については、平成24年度予算の概算要求を行うに当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算額の削減に努めること。		
	3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度概算要求に当たり、実績額の反映により、要求額を削減した(削減額:12百万円)。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A. 理科研(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入	多資料塩基配列分析システム等 の購入	94			
	計		94	計		
	B. 日立キャピタル(株)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	借上費	核磁気共鳴装置借上等	123			
	計		123	計		
	C. 京葉瓦斯(株)			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	光熱水料	ガス供給	60			
	計		60	計		
	D. 職員、外部委員等			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費等	職員及び外部委員に対する旅費、 謝金	19			
	計		19	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	理科研(株)	多資料塩基配列分析システム等の購入	94	3	
2	(株)システムブレイン東京営業所	MALDIイオン源等の購入	53	3	
3	英弘精機(株)	誘導結合プラズマ発光分光分析装置の購入	18	2	
4	(株)紀伊国屋書店千葉営業所	外国図書等の購入	18	2	
5	(株)松見科学計測	ガスクロマトグラフ質量分析計の購入	15	3	
6	富士電機システムズ(株)	キャリングケース型放射能測定装置の購入	14	2	
7	日本サーモ(株)	有機窒素酸化物分析装置の購入	10	3	
8	(株)ノビテック	高速度撮影装置等の購入	10	2	
9	加賀ソルネット(株)	可搬型光パワー鑑定システム等の購入	10	3	
10	鍋林フジサイエンス(株)	プレップファイラーBTA法科学DNA抽出キット外3点等の購入	10	随意契約	

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立キャピタル(株)	核磁気共鳴装置借上等	123	随意契約	
2	(株)理経	音声自動識別装置借上	27	随意契約	
3	三井住友ファイナンス&リース(株)	デジタル画像装置借上	1	随意契約	
4	オリックス・レンテック(株)	凍結マイクローム借上	1	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京葉瓦斯(株)	ガス供給	60	随意契約	
2	(株)F - Power	電気供給	52	3	
3	(財)日本自動車研究所	自動車の衝突実験委託	37	1	
4	KDDI(株)	専用回線使用料等	15	1	
5	柏市	水道供給	15	随意契約	
6	エルゼビア・ビー・バイ	オンラインジャーナル(外国雑誌2010年)利用料	11	随意契約	
7	理科研(株)	高分解能飛行時間型質量分析計修理等	5	随意契約	
8	社会システム(株)	走行実験補助業務	4	3	
9	日立プラント建設サービス(株)	実験室燻蒸及びフィルタ交換作業	4	1	
10	キャノンシステムアンドサポート(株)	プリンター保守等	3	随意契約	

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員、外部委員等	職員及び外部委員に対する旅費、謝金	19		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					